

1. 究極の選択：パラメータか，法線か

空間図形の問題を解くとき，「パラメータ表示」で攻めるか，「法線ベクトル」で攻めるかの選択が運命を分ける。それぞれの得意分野（守備範囲）を理解しよう。

**A. パラメータ表示**

$\vec{p} = \vec{a} + s\vec{u} + t\vec{v}$

- 視点：平面上を「歩く」
- 得意：
  - － 平面上の点の表現
  - － 直線と平面の交点
  - － 三角形や領域の内部判定
- 計算：連立方程式（係数比較）

VS

**B. 法線ベクトル**

$\vec{n} \cdot (\vec{p} - \vec{a}) = 0$

- 視点：平面を「貫く・固定する」
- 得意：
  - － 点と平面の距離
  - － 平面の方程式
  - － 対称点・垂直条件
- 計算：内積ゼロ

使い分けの鉄則

- (1) 交点を求めたいとき ⇒ パラメータ表示（直線上の点 = 平面上の点）
- (2) 距離・垂直・角度を扱いたいとき ⇒ 法線ベクトル（方程式・正射影）
- (3) 体積を求めるとき ⇒ 法線ベクトルで「高さ」を求めるのが近道。

例題 1

点 A(0, 1, 2) から，3 点 O(0, 0, 0), B(2, 1, 0), C(1, 2, 2) を通る平面  $\alpha$  に下ろした垂線の足 H の座標を求めよ。

Memo / Answer

【解法 A：パラメータ】  $\vec{OH} = s\vec{OB} + t\vec{OC}$  とおき， $\vec{AH} \perp \vec{OB}, \vec{AH} \perp \vec{OC}$  を解く。

【解法 B：法線（推奨）】 法線  $\vec{n}$  を求め，直線  $AH \parallel \vec{n}$  として H を直線上の点として表し，平面の方程式に代入する（交点計算）。

2. 法線ベクトルの決定 (基本)

法線ベクトル  $\vec{n} = (a, b, c)$  を求めるには、平面上の 2 つのベクトル  $\vec{u}, \vec{v}$  との内積が 0 になることを利用する。未知数 3 つに対して式は 2 つなので、比を求めることになる。

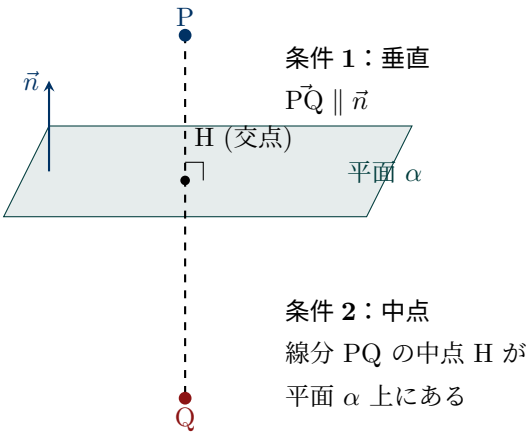
例題 2

$\vec{u} = (1, 2, -1), \vec{v} = (2, -1, 3)$  の両方に垂直なベクトル  $\vec{n}$  を 1 つ求めよ。

Memo / Answer

3. 平面に関して対称な点

点 P と平面  $\alpha$  に関して対称な点 Q を求める問題は、法線ベクトルの絶好の練習台である。



例題 3

点  $P(2, 3, 4)$  と、平面  $\alpha : x - 2y + 2z - 9 = 0$  に関して対称な点 Q の座標を求めよ。

Memo / Answer

4. 四面体の体積（座標型）

4 点の座標から体積を求める問題は，記述式試験で最も差がつくテーマの一つ。「法線 → 方程式 → 距離 → 高さ」の流れをマスターしよう。

体積を求める手順

四面体 OABC の体積  $V$

(1) 底面積  $S_{\triangle OAB}$  を求める。

$$S = \frac{1}{2}\sqrt{|\vec{a}|^2|\vec{b}|^2 - (\vec{a} \cdot \vec{b})^2}$$

(2) 平面 OAB の法線ベクトル  $\vec{n}$  を求める。

(3) 点 C から平面 OAB への距離  $h$  を求める。

$$h = \frac{|\vec{n} \cdot \vec{OC}|}{|\vec{n}|}$$
（または点と平面の距離公式）

(4)  $V = \frac{1}{3}Sh$

例題 4

3 点  $A(1, 0, 0), B(0, 2, 0), C(0, 0, 3)$  を通る平面を  $\alpha$  とする。原点  $O$  から平面  $\alpha$  に下ろした垂線の長さを  $h$  とし，四面体 OABC の体積を  $V$  とする。 $h$  と  $V$  を求めよ。

Memo / Answer

総合演習 A (標準)

練習 A1

点  $A(1, 2, 3)$  を通り、ベクトル  $\vec{d} = (2, -1, 2)$  に平行な直線を  $l$  とする。点  $P(0, 5, 5)$  から直線  $l$  に下ろした垂線の足  $H$  の座標を求めよ。

練習 A2

点  $A(3, 2, 1)$  と、平面  $\alpha : x + y + z = 0$  に関して対称な点  $B$  の座標を求めよ。

Memo / Answer

総合演習 B (応用)

練習 B1

座標空間に 4 点  $O(0, 0, 0), A(1, 1, 0), B(0, 1, 1), C(1, 2, 3)$  がある。

- (1) 平面  $OAB$  の方程式を求めよ。
- (2) 点  $C$  から平面  $OAB$  に下ろした垂線の長さ  $h$  を求めよ。
- (3) 四面体  $OABC$  の体積  $V$  を求めよ。

練習 B2

定点  $A(0, 0, 2)$  と、平面  $z = 0$  ( $xy$  平面) 上を動く点  $P$ 、および平面  $x = 0$  ( $yz$  平面) 上を動く点  $Q$  がある。 $\triangle APQ$  が正三角形となるとき、四面体  $OAPQ$  の体積を求めよ。ただし  $O$  は原点とする。

Memo / Answer

総合演習 A (標準) 【解答】

練習 A1

$A(1, 2, 3), \vec{d} = (2, -1, 2)$  の直線  $l$ 。  $P(0, 5, 5)$  からの垂線  $H$ 。

Memo / Answer

点  $H$  は直線  $l$  上にあるので、実数  $t$  を用いて  $H(1+2t, 2-t, 3+2t)$  とおける。 $\vec{PH} = \vec{OH} - \vec{OP} = (1+2t, -3-t, -2+2t)$   $\vec{PH} \perp \vec{d}$  より内積が 0。  $2(1+2t) - 1(-3-t) + 2(-2+2t) = 0$   
 $2 + 4t + 3 + t - 4 + 4t = 0$   $9t + 1 = 0 \implies t = -\frac{1}{9}$  座標に代入して  $x = 1 - \frac{2}{9} = \frac{7}{9}$   
 $y = 2 - (-\frac{1}{9}) = \frac{19}{9}$   $z = 3 - \frac{2}{9} = \frac{25}{9}$  答  $H(\frac{7}{9}, \frac{19}{9}, \frac{25}{9})$

練習 A2

$A(3, 2, 1)$  と 平面  $x + y + z = 0$  に関して対称な点  $B$

Memo / Answer

平面の法線ベクトルは  $\vec{n} = (1, 1, 1)$ 。直線  $AB \parallel \vec{n}$  より  $\vec{AB} = k\vec{n}$  とおける。 $B(x, y, z)$  とすると  $(x-3, y-2, z-1) = (k, k, k)$ 。 $B(k+3, k+2, k+1)$  線分  $AB$  の中点  $M$  は  $M(\frac{k+6}{2}, \frac{k+4}{2}, \frac{k+2}{2})$   $M$  は平面上にあるので  $\frac{k+6}{2} + \frac{k+4}{2} + \frac{k+2}{2} = 0$   $3k + 12 = 0 \implies k = -4$   
 よって  $B(-4+3, -4+2, -4+1) = (-1, -2, -3)$  答  $B(-1, -2, -3)$

総合演習 B (応用) 【解答】

練習 B1

$O(0, 0, 0), A(1, 1, 0), B(0, 1, 1), C(1, 2, 3)$

Memo / Answer

(1) 平面  $OAB$  の法線  $\vec{n} = (a, b, c)$  を求める。 $\vec{OA} = (1, 1, 0), \vec{OB} = (0, 1, 1)$   $\vec{n} \cdot \vec{OA} = a + b = 0 \implies a = -b$   $\vec{n} \cdot \vec{OB} = b + c = 0 \implies c = -b$   $b = -1$  とすると  $a = 1, c = 1$  なので  $\vec{n} = (1, -1, 1)$ 。原点を通るので答  $x - y + z = 0$   
 (2) 点  $C(1, 2, 3)$  と平面  $x - y + z = 0$  の距離  $h$   $h = \frac{|1-2+3|}{\sqrt{1^2+(-1)^2+1^2}} = \frac{2}{\sqrt{3}}$  答  $\frac{2\sqrt{3}}{3}$   
 (3)  $\triangle OAB$  の面積  $S$   $|\vec{OA}| = \sqrt{2}, |\vec{OB}| = \sqrt{2}, \vec{OA} \cdot \vec{OB} = 1$   $S = \frac{1}{2}\sqrt{2 \cdot 2 - 1^2} = \frac{\sqrt{3}}{2}$   
 $V = \frac{1}{3}Sh = \frac{1}{3} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{2}{\sqrt{3}} = \frac{1}{3}$  答  $\frac{1}{3}$

練習 B2

$A(0, 0, 2), P(p_1, p_2, 0), Q(0, q_2, q_3)$

Memo / Answer

$AP = AQ = PQ$  という条件から座標を決定する。 $AP^2 = p_1^2 + p_2^2 + 4$   $AQ^2 = q_2^2 + q_3^2 + 4$  (ここで  $x = 0$  より  $q_1 = 0$ )  $PQ^2 = p_1^2 + (p_2 - q_2)^2 + q_3^2$  これらを連立し、さらに面積を計算するが、記述欄の都合上、指針のみ。